



人の心の在りようを理解し、
確かな知識と技術で、
心の健康を
支える人材を養成。



Department of Clinical Psychology

臨床心理学科

心理学部

臨床心理学科

Field of study 学びのフィールド



臨床系、発達・教育系、
実験系など幅広い
心理学領域を学び、
「こころの専門家」を目指す

Feature 学科の特徴

広い視野で 心の理解を目指す カリキュラムを編成

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野から興味に合わせて学べます。心の複雑さを知ることで、困難を抱える人々の個性を受け入れ、理解する力を育みます。

3つの授業スタイルで 心理学の理解を深め 実践力を身に付ける

知識を身に付ける「講義型」、実際に体験して学ぶ「演習型」、現場で学ぶ「実習型」の3つの授業スタイルで、心理学分野で重要な、人の理解を深め、人を支援するための知識と技術を身に付けます。

適性を見極める 機会となる現場での 豊富な実習

小・中学校をはじめとした80時間以上に及ぶ実習や、福祉施設や教育相談施設の見学など、臨床心理業務の実態を肌で感じることができる機会を豊富に設け、自らの適性を見極めることができます。

臨床心理学科「卒業論文・卒業研究」タイトル(2022年度一部抜粋)

- 子どもの発達と遊び・玩具との関連性
- 不登校に対するイメージと不登校の原因認識の関連について
- ヤングケアラーの心理と援助要請
- 大学生の家族関係と友人関係の相関について
- Instagramの利用による承認欲求の変化とキャラ作り
- メイクのパターンとメイクをすることによる印象・心理の変化
- 月経前症状が及ぼす就労女性への心理社会的影響と支援
- オタクは趣味に関するどのような場面で気分の変化が生じるか
- 絵を描くこととストレスとの関係性
- 映画が人に与える心理的影響と活用法

臨床心理学科
ホームページは
こちら



Curriculum カリキュラムの概要

学びのステップ	1年次	2年次	3年次	4年次
	心理学の理論を学び、 学びの基礎を固める	実験によって学びの基礎を 補完し、専門的な学びに備える	より専門的な学びを深め、支援の方法を 学び、多様な領域での実習を行う	4年間の学びの集大成として 全員が卒業論文を執筆
総論	心理学概論 臨床心理学概論		神経・生理心理学 視覚と芸術の心理学 感情・人格心理学 言語心理学 思考心理学 道徳心理学 青年期の発達心理学 高齢者の心理学 心理学的支援法 力動的アプローチ 認知行動療法	家族療法論 心理教育的アセスメント 健康心理アセスメント データ解析 実験計画法 公認心理師の職業 関係行政論 臨床教育学 学校臨床心理学 発達障がいの子と指導援助 キャリアカウンセリング
研究入門		心理学統計法	心理演習 遊戯・芸術療法 心理的アセスメント	
実習		心理学実験	臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB	臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究

※このカリキュラムは2023年度現在の教育課程に基づくものです。

Course model 履修モデル

幅広い将来の進路に合わせて、3つの履修モデルを設定しています。

「プロフェッショナル」モデル

科学的に心を学び、
心理のプロフェッショナルへ

【履修科目目録】

- 神経・生理心理学
- 公認心理師の職業
- 障がい者・障がい児心理学
- 子どものころからだ
- 心理学実験

【心理学実験】を履修した学生の声
少人数のグループで実験を行い、レポートを作成します。錯視や感覚、認知の実験など自分たちで実験内容を定めることもあり、分析には時間がかかりますが、達成感も大きいです。

「ワーク」モデル

心理学の知識やスキルを活かして、
多彩なフィールドで活躍

【履修科目目録】

- 思考心理学
- 健康心理アセスメント
- キャリアカウンセリング
- 心身医学
- 臨床心理学概論

【臨床心理学概論】を履修した学生の声
さまざまな臨床心理学の歴史を学び、心の不調やそのアセスメント、支援方法を学ぶことができます。疑問を感じることは、次の授業で丁寧な解説が受けられるので勉強になります。

「ライフ」モデル

心理学的な素養を、
心の健康に活かせる人材へ

【履修科目目録】

- 言語心理学
- 道徳心理学
- 家族療法論
- 健康心理カウンセリング
- 青年期の発達心理学

【青年期の発達心理学】を履修した学生の声
思春期から成人までの過程をたどりながら心理社会的な変化について学びます。発達をする過程で受ける影響は、アルバイトなどの身近なものも含まれ、納得する点が多かったです。

Student's Voice 学生の声

公認心理師の国家資格にチャレンジ。

障がいのある子どもとその家族を

心理的に支えるカウンセラーを目指しています。

S.T.さん

臨床心理学科3年 埼玉県 県立与野高等学校出身

子どもが好きで、高校3年生から放課後デイサービスのアルバイトをしていました。さまざまな子どもと触れ合うなかで、障がいのある子どもや親への支援に関心を持つようになり、心理学部を選びました。

将来はカウンセラーを目指しており、現在は公認心理師の資格取得を目標に、幅広く心理学を学んでいます。特に印象的だった授業は「心理的アセスメント」。心理検査を被験者として体験しその結果を分析しましたが、検査結果を正しく解釈することの難しさと重要性を学びました。

また、特別支援学級での実習を通して、話したくてもうまく伝えられない児童がいることを知りました。言葉だけでなくスキップの大切さや、一人ひとりの子どもに合わせたコミュニケーションを取る必要性を感じ、よりカウンセラーを目指す気持ちが強くなりました。

3年次の時間割(例)

	月	火	水	木	金	土
1限				臨床心理学演習ⅠB		心身医学
2限	子どものころからだ			ミステリー文学	手話	福祉心理学
3限	心理教育的アセスメント			健康心理アセスメント実習	力動的アプローチ	
4限	高齢者の心理学			健康心理アセスメント実習	健康心理カウンセリング	
5限						

Pick up 授業紹介

心と身体の両面から「健康」を考える

健康・医療心理学

前場 康介 准教授 [研究分野]臨床心理学、健康心理学

私たちがより良い生活を送るために欠かせない、「健康」に注目した心理学について学びます。例えば運動習慣の確立や睡眠の改善など、「わかってはいるけどできない」行動を理論に基づき開始・継続する方法について紹介します。また、医療分野における多職種連携をはじめ、心理専門職の役割についても解説を加えます。

歴史を紐解きながら理解を深める

産業カウンセリング

宮崎 圭子 教授 [研究分野]産業臨床、ポジティブ心理学、遠隔カウンセリング、サイコエデュケーション

産業カウンセリングを一言でいえば、「働く人のためのカウンセリング」ということになります。大別すれば、メンタルヘルスとキャリアが2本の柱となるでしょう。労務管理、関連行政なども密接に関係してきます。海外と日本での産業カウンセリングの歴史を概要上、上述の事項も詳述していきます。複数の事例を提供して、その主訴、アセスメント、アプローチを議論します。